

平成28年度 第2回 橋本市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成29年 2月 9日(木) 14:00~15:20 橋本市役所 市長応接室	
出席委員氏名	藤井 幹雄(委員長) 濱田 学昭 鈴木 秀幸	
審議対象期間	平成28年4月1日 ~ 平成28年9月30日	
抽出案件	総件数 3件	審議事項 (1)平成28年度上半期の入札・契約結果について (2)定例報告 ①総括表 ②工事に係る入札契約方式別発注工事一覧 ③入札参加資格停止等の運用状況一覧表 (3)抽出事案について
制限付一般競争入札	0件	
工事希望型競争入札	2件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議の内容	特になし	

意見・質問	回答
<p>(1)平成28年度上半期の入札・契約結果について</p> <p>意見・質問事項等なし。</p>	
<p>(2)定例報告</p> <p>1. 汚水管渠築造工事に伴う水道管移設工事とはどのような工事か？</p> <p>2. 擁壁の修繕工事の区分が土木一式工事ではなく、とび・土工工事となっているのはなぜか？</p>	<p>下水道管の布設工事に伴い、水道管を移設する工事です。下水道管布設箇所には水道管がある場合、水道管が支障となるため、下水道管の布設工事と並行して水道管の移設工事を行います。</p> <p>一般的に擁壁修繕工事は、土木一式工事に分類されますが、この工事は、ボーリングを行い、薬液を注入し、それにより擁壁の下の地盤を強固にする工事となります。薬液注入工事はとび・土工工事に分類されますので、とび・土工工事としています。</p>
<p>(3)抽出事案について</p> <p>【工事希望型競争入札(水道経営室)】</p> <p>『第5次拡張事業 紀の川右岸送水管(野・柏原工区)布設工事』</p> <p>1. ステンレス管とダクタイル鋳鉄管の2種類が使用されているがどういった使い分けをしているのか？</p> <p>ステンレス管はダクタイル鋳鉄管より価格は高いのか？</p>	<p>管を橋梁に添架する箇所では、橋梁に影響が出ないように、ダクタイル鋳鉄管に比べ、重量の軽いステンレス管を使用しています。</p> <p>ステンレス管の方が価格は高いです。</p>
<p>【工事希望型競争入札】</p> <p>『応其小学校校舎内改修工事』</p> <p>1. 契約変更について、どのような内容か？</p> <p>2. 工事施工中に判明した仕様変更等はやむを得ないが、教室の追加については、当初の設計には含まれていなかったのか？</p> <p>3. 当初の設計の段階で、適正に協議を行った上で設計し、追加等による増額の契約変更とならないようにするべきではないか。</p>	<p>変更内容について、1階の4教室の改修の追加、劣化箇所の取替え、防火扉の仕様変更、下地処理の追加の4点が主な変更となります。</p> <p>当初は、2階と3階の合計12教室の改修予定でしたが、協議の結果、改修箇所の追加ということとなりました。</p> <p>今後、適正に行うよう努めます。</p>
<p>【指名競争入札】</p> <p>『運動公園多目的グラウンド改修工事』</p> <p>1. 増額の契約変更をしているが増額の割合はどれだけか？</p> <p>変更となった経緯、変更内容はどのようなものか？</p> <p>2. 市の完成検査を受ける前に日本陸上競技連盟検定委員の検査を受けたのか？</p> <p>3. つまり、当初の工事の完成後に日本陸上競技連盟の検査を受け、そこで指摘されたため、契約変更し、追加分の工事の完成後に再び日本陸上競技連盟の検査を受け、合格後に市の完成検査を受けたということか？</p> <p>4. 何年毎に認定が必要か？</p>	<p>およそ11.3%です。</p> <p>この工事は現在認定を受けている、日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場の認定を継続するための工事であるため、日本陸上競技連盟の検査に合格する必要があります。日本陸上競技連盟の検査を受けた際に、当初の設計には含まれていなかった、コースラインの復旧、砂場の枠の復旧等を指摘されたため、指摘された箇所を追加しました。</p> <p>はい。工期内に日本陸上競技連盟の検査を受け、合格することが施工条件に含まれていましたので、日本陸上競技連盟の検査の後に市の検査を受けることになっています。</p> <p>はい。</p> <p>3年に1回です。</p>